移行照合と切替後差分の記入表

架空の記入例。数値・時刻は説明用で、実際の移行結果ではありません。

1 移行前後の照合

対象	比較日時・条件	変換規則	確認項目・単位	旧値	新値	差分	関連付け・例外の確認
未出荷の受注	9時50分 / 有効受注のみ	受注番号を維持	有効受注件数（件）	3	3	0	取消を除く。受注番号と得意先を照合
未出荷の受注	9時50分 / 有効受注のみ	数量の単位は箱	数量合計（箱）	7	7	0	商品と明細の結び付きを照合
未出荷の受注	9時50分 / 有効受注のみ	税別・1箱1,000円	金額合計（円）	7000	7000	0	税込・税別が同じであることを確認

旧値・新値は同じ9時50分時点。未出荷・有効受注だけを集計。1箱1,000円、税別。

差分がゼロでも、番号・得意先・商品・明細の結び付きと、除外・統合などの例外を確認します。

2 切替・切り戻し

架空の記入例。作業時間は未実測です。自社の手順で確認してください。

確認する項目	決めた内容・確認結果
確認対象	未出荷の受注と明細。切替後の追加・訂正・取消を含む
入力停止	旧側は9時50分。画面・定期処理・連携を停止。切替後は参照用
最終差分・切替	9時50分までの変更を新側へ反映・照合し、10時に入力開始
切替条件	件数・数量・金額と明細が一致し、登録・訂正・取消ができる
戻す条件	受注の登録・訂正・取消ができない、または説明できない不一致が残る
判断者・連絡方法	業務責任者が判断。移行担当と電話で連絡し、利用者へ入力停止を案内
切替後入力・変更	O1004を4箱で追加、O1002を3箱から5箱へ訂正、O1003の2箱を取消
新側の更新停止	戻すと決めた時点。遅くとも10時30分に画面・定期処理・連携を停止
回収方法	10時から更新停止までの追加・訂正・取消・削除と対象番号を出力して保全。抽出方法は事前に確認
戻し方	旧側の入力を止めたまま変更を反映。受注番号で重複を避け、訂正と取消も反映
判断期限	10時30分。回収・反映・照合に使える時間を確保して判断
復旧完了期限	11時。停止中の控えの照合・登録も含めて再開する。30分は未実測で、事前のリハーサルで確認する想定
戻した後の確認	10時30分の更新停止まで：全受注4件（取消を含む）、有効3件、11箱、税別11,000円。番号・明細・取消状態と主要操作を確認。停止中の新規注文は次ページで別に反映
通知・出荷	この例は通知・出荷を保留。実行済みなら記録を回収し、二重実行と訂正連絡の要否を確認
戻せない場合	回収不能・反映不能・期限超過を判断者へ連絡。新側の修正、停止延長、別の受付方法を判断
結果・メモ	未実施

表はNeoLogicの編集上の提案です。出典：IPA 第4章関連資料 4.1.1（2019年）/ AWS Cutover stage「Rollback」（発行日・版番号表示なし）。確認日：2026年9月15日。
IPA：https://www.ipa.go.jp/archive/files/000072725.pdf
AWS：https://docs.aws.amazon.com/prescriptive-guidance/latest/best-practices-migration-cutover/cutover-stage.html

3 停止中の受付と再開前の確認

10時30分から再開までに届く新しい注文は、受注担当が受付番号付きの控えに記録します。更新停止までの変更を戻した後、控えと旧側を照合して重複を避け、一度だけ登録します。未反映の控えがないことを確認して通常入力を再開します。11時の再開期限には、この照合・登録も含めます。

11箱・税別11,000円は、10時30分の更新停止までの変更を戻した照合値です。停止中に新しい注文を受けた場合は、その控えを反映した分も加えて最終の件数・数量・金額を確認します。

確認すること	担当・記録先・確認結果
受付番号付きの控えへ記録	未実施
旧側と重複を照合し、一度だけ登録	未実施
最終の件数・数量・金額、未反映がないことを確認	未実施
期限内に再開できない場合の責任者判断	未実施

期限までに控えの処理を終えられない場合は業務責任者へ連絡し、停止延長などを判断します。追加注文の件数や数量は、この想定例では設定していません。